

認証・アカウント管理・証明書発行・DHCPアプライアンス「RADIUS GUARD S V7」 証明書配付機能の強化など、運用負荷低減を追求した新バージョンを提供開始



■背景

デジタルトランスフォーメーションの進展とともに、コミュニケーションの円滑化や場所を問わない業務の効率的化を目的に、無線LANの普及が進んでいます。無線LANの利用にはセキュリティ面での配慮が不可欠で、特に証明書認証の導入が重要となります。これにより初めて安心して無線LANを活用し、業務の効率化を図ることができます。

しかしながら、証明書認証の導入は、利用者毎の証明書の発行から端末への配付、更新、削除等の運用に多大な負荷が発生し、その課題により導入が進んでいない組織も多く見られます。

「RADIUS GUARD S V7」は、この証明書の運用・管理をワークフロー化し、管理者および利用者双方で、手間をかけることなく容易に証明書認証を運用するための機能を提供しています。この度のエンハンスでは、「証明書運用の負荷低減機能の強化」および「GUI改善による操作性向上」を主な新機能とし、構築・運用の更なる負荷低減に貢献します。

■RADIUS GUARD S V7 Ver.7.02.00の主な新機能

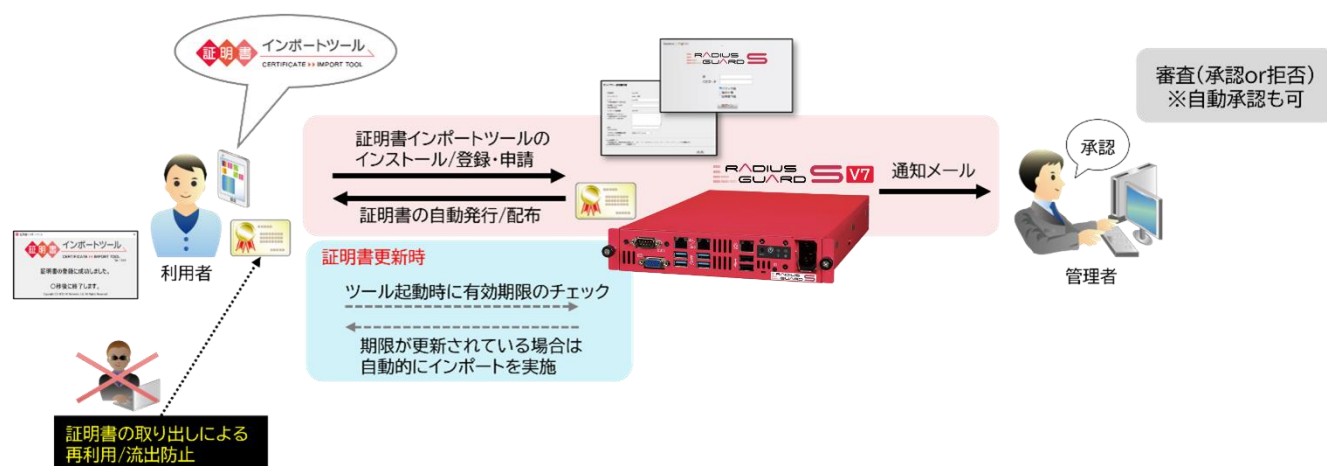
◇証明書運用の負荷低減を目指した「証明書インポートツール」の対象OSを拡張

通常は証明書の配布からダウンロード～インポートまで、管理者・利用者ともに手間のかかる作業でしたが、本製品ではクライアント証明書の安全な配付と簡単なインポートに対応可能な機能（証明書インポートツール）を標準搭載しております。そして今回、従来のWindows端末向けに加えて新たにmacOS、iOS、Android OS端末向けの証明書インポートツールを提供します。

証明書インポートツールを利用することで、利用者向けの申請ワークフローである「ユーザーツール」と連動して、端末にクライアント証明書をインポートすることが可能です。また証明書が更新された際には、自動でダウンロードしてインポートできる、他端末への証明書の流用を防止することができる※といったメリットがあり、より簡単でセキュアなクライアント証明書の運用が可能となります。

※他端末への証明書の流用防止について、macOSは次期以降のバージョンアップにて対応予定

証明書運用フロー



◇参照作成機能による設定登録機能により、設定時の手間を大幅削減するとともに設定ミスも軽減
ネットワーク属性やDHCPスコープ、申請ワークフロー機能のポリシー設定等、数十件程度の設定投入を要する設定が、参照作成による設定登録機能より入力の手間を大幅に削減できます。手動で設定を増やす際の人的ミスを防止することにも役立ちます。

◇管理画面からマニュアルの該当箇所に遷移可能なヘルプボタン機能の追加により、
構築・設定時の負荷を低減

多くの機能を搭載する本製品では、設定中の不明時に膨大なマニュアルから対象ページを探すといった作業が必要でした。しかし今回、不明時のマニュアル参照負荷を低減する機能として、WebGUI上の各種設定画面にヘルプを追加し、その時々によって必要なマニュアルPDFページを参照する機能を提供します。ワンクリックでマニュアルの該当箇所へ遷移するため、どの設定項目にどのような値を設定すればよいか、設定時の注意事項等をすぐに確認できるようになります。構築時や設定変更時の負荷を低減し、構築・運用コストの削減に貢献します。

■ RADIUS GUARD S V7の特長

・さまざまな認証方式

Web・MAC・IEEE802.1X認証に対応。多様化する端末に合わせた認証方式を選択できます。

・CA(自己認証局)機能

プライベート認証局機能を搭載。クライアント証明書を必要とする端末に対し、ご利用いただけます。

・充実した認証機能

外部LDAPやActive Directory®を参照した認証も可能です。

・効率的なアカウント管理

MACアドレス自動登録、未使用アカウントの自動削除(アカウント棚卸し機能)、ユーザーへのパスワード有効期限通知など、アカウント運用管理の負荷を低減します。

・申請ワークフロー

利用者によるアカウント申請システム「ユーザーツール」を標準搭載。

・柔軟なライセンス拡張・ご提供形態

ライセンス入れ替えのみで速やかに拡張可能。アプライアンス・VA・クラウドでのご提供。

・手厚い運用支援・サポート

導入前・導入後の専任チームによるサポートをご提供します。
マニュアル・設計ガイドも多数ご用意しております。

・DHCPサーバー機能

DHCPオプションライセンスを組み合わせることにより、ネットワーク機能の集約化に貢献します。

・Web API連携

登録されたアカウント情報の登録や改廃について、APIによる連携機能を搭載。